

東日本支部だより

令和 5 年度世話人代表 高橋敏郎 (S49 年卒)

令和 6 年度世話人代表 野口裕司 (S50 年卒)

令和 6 年 6 月 1 日 (土) に「令和 6 年度名大鏡友会東日本支部総会・講演会・懇談会」を学士会館にて開催し、昭和 37 年卒～平成 31 年卒の会員 38 名が出席されました。

今年も昨年同様、総会を前に台風 1 号が発生し、その影響が心配されましたが、前日までに通り過ぎ、無事開催することができました。

総会では、令和 5 年度の活動報告・収支報告、令和 6 年度の活動計画・収支計画が承認されました。

また、今後の活動について、世話人会の討議において「昭和年代卒業生が漸減する中、平成以降の卒業生の総会出席者が増えない現状では、活動を継続していくことは困難」との結論(世話人会 全会一致)に至り、「令和 6 年度総会を最後として東日本支部の活動を休止する」ことを提案し、出席された会員の皆様のご承認を得ることができました。

本部総会内容につきましては、薩摩理事長よりご報告いただきました。昨年度策定された改革策に基づいて、経費削減、運営・業務の簡素化(スリム化と電子化)を着実に実行しているという内容でした。会費については、令和 5 年度は全員に郵送にて会報購入通知を実施したが、令和 6 年度からは冊子体希望者(約 100 名)以外は、メール通知となるため会費収入減の可能性が大きいとのことでした。

馬場先生の講演会は、「ナノ AI バイオデバイスと量子生命化学が拓く未来医療」という演題で、とても興味深い内容でした。1ml の尿の分析から種々のガンを早期発見できるナノワイヤや、コロナワクチンの活性度の分析方法等、我々の健康に直結したテーマについてユーモアを交えて分かりやすくご講演いただきました。「人生 150 年時代を目指して研究をしている」という話には、明るい未来を感じることができました。

総会後は、名大全学同窓会関東支部事務局長の岸様のご発声で乾杯し、懇談会を行いました。今回が最後の懇談会になることもあり、アルコール・つまみ等を取りながら、会員間の会話も弾み大いに盛り上がりました。コロナ禍以降、中止していた学生歌(若き我等)、寮歌(伊吹おろし)の斉唱も新井さん(S45 年卒)、西谷さん(S49 年卒)の音頭とりで 5 年ぶりに復活し、出席者全員が楽しいひと時を過ごすことができました。

鏡友会東日本支部は、平成 7 年度に応化会東日本支部として発足以来、30 年間活動してまいりましたが、鏡友会東日本支部の活動は令和 6 年度総会を最後に活動を休止することになりました。(平成 30 年(2018 年)5 月に応化会から鏡友会となった)

誠に残念なことはありませんが、これも時代の趨勢と思います。

最後に、鏡友会東日本支部の会員の皆様方には、今までいただきましたご支援、ご協力に厚く御礼申し上げますとともに、今後のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



鏡友会総会報告 薩摩理事長



講演会 馬場嘉信先生



東日本支部総会出席者集合写真



乾杯のご発声 名大全学同窓会 岸様



学生歌、寮歌 斉唱
西谷さん 新井さん